

# 令和7年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 歴史博物館

評価基準 (達成度)	達成 (目標値 $\geq$ 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 $\geq$ 80%)	△
	未達 (目標値 $<$ 80%)	×

## ○全館共通項目

	取組の内容		自己点検		第三者 評価 性及び今後の方向 のコメント
	1年間の 目標値	実現方策	達成値 ※ () は「1年間の目標値 に対する達成率」	達成度 課題・対応の方向	
利用者満足度	90%	・講演会等への参加者に対してアンケートを実施し、意見を活用して改善を行う。	97.5% (108.3%)  【参考:アンケート回答者数】 R5年度: 1,031 R6年度: 1,002 R7年度: 1,350	○	休館中も館外で行う催し物においてアンケートを実施し、当館への意見を収集・検討・反映するよう努める。それにより充実した講座等を実施することで利用者満足度の維持・向上を図る。
入館者	-人 休館中につき設定せず				
利用状況 教育・普及事業への参加者	(参加者数) 3,000人  (若年層対象イベント数) 4回	・外部会場で講座、講演会等を実施。  R7実績 (開館日数ゼロ) 行事名 件数 参加者数 講座・講演会等 37 2,212 展示解説 0 0 体験教室・見学会 5 83 ミュージアムコンサート 0 - ミュージアム・ミッション※ 1 - 講座等 合計 43 2,295 実習研修等受入 0 0 学校へ出張講座 48 3,914 総計 91 6,209 ※ミュージアム・ミッションは事務局として主催したが、休館中のためWEBでクイズを掲載した。イベント全体の参加者数は延べ4,733人。	6,209人(207%)  5回(125%)	○  ○	・出張講座の申込みが増加しており、再開後もこの傾向が続いた場合にどこまで対応できるかが課題である。 ・申込多数で抽選になった講座の当選者が欠席し、結果として定員を割るという課題があった。そのため令和7年度からキャンセル待ち制度を開始した。しかし事前にキャンセルの連絡が来ることは少なく、効果は限定的である。

インターネットアクセス	(R6実績) 4,021,009件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの安定的な管理運用を行う。</li> <li>・ホームページの適宜更新を行い、最新のわかりやすい情報提供に努める。「おうちでかながわけんぱく」のコンテンツを追加する。</li> </ul>	4,274,599件(106%)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの安定的な管理運用を継続する。</li> <li>・「神奈川県立歴史博物館デジタルアーカイブ」について、1月までの実績で91,179件のアクセスがありホームページ全体のアクセス数に大きく寄与していると考えられることから、内容の一層の充実を図っていく。</li> <li>・休館中の最新情報を提供するとともに、再開館後の来館につながるよう工夫する。</li> <li>・「おうちでかながわけんぱく」に手話動画を追加するなど、引き続きホームページの内容充実に努める。</li> </ul>	
資料・収蔵品	(特別利用) 207件 552点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真資料の特別利用について、申請者に適切な指導を行い、事務手続を円滑に遂行する。</li> </ul> <p>3か年平均：207件、552点 R4年度：203件、508点 R5年度：196件、662点 R6年度：221件、485点</p>	166件(80%) 303点(55%)	△ ×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真資料(画像)の利用にあたっては、充実したサービスを提供していく。</li> <li>・休館中は、収蔵資料の貸出やフィルムの特別利用を停止したため、平均以下の利用状況となった。</li> </ul>	
	(公開画像データ件数) 49,557件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵資料のデジタルアーカイブ化及び画像データを充実させる。</li> </ul>	50,278件(101%)  106,079件(103%)	○  ○		
	(アクセス件数) 102,831件					
活用	(常設展示室における展示) 約 - 件 休館中につき設定せず	(実施数) - 件 休館中につき設定せず				

		(資料収集及び長期借用数) 100件	未来へ継承すべき「かながわ」に関わる資料の収集を着実に実施する。	110件 (110%)	○	充実した博物館活動の継続が、購入・寄贈・寄託等による資料収集に繋がることを意識して、今後も「かながわの文化と歴史」を総合的・通史的に扱う唯一の博物館としての役割を果たしていく。
	維持管理	・自然的要因を除く毀損(汚破損)の防止。 ・計画的な資料修繕。	・IPM(総合的害虫管理)を継続する。 ・資料受け入れ時に適切な保存処置を行う。 ・必要に応じて薬剤燻蒸を実施する。 ・収蔵庫及び展示ケース等の環境調査を定期的に行う。 ・修繕計画の見直しを行い、順次実施する。	・資料保存環境維持のため収蔵庫及び展示室等の空気環境調査・虫菌害調査を実施した。 ・資料受入時の状態確認を徹底するとともに、燻蒸が必要な資料については外部の民間燻蒸庫で燻蒸を実施した。 ・収蔵庫及び展示室等の養生実施や入室ルールの作成等を行い、工事中の館内環境の維持に最大限努力した。 ・修繕計画に基づき優先順位の高い2件の資料修繕を実施した。	○	・館内の保存環境を維持するためには、空調機器のメンテナンス等を含めた継続的な取り組みが必要である。 ・資料保存環境を維持するため、工事休館中も収蔵庫・展示室等で必要な対応を行う。 ・資料修繕を計画的に実施するために、修繕計画の定期的な見直しを継続し、優先度や予算状況に応じて適切な修繕候補を選定する。
調査研究	研究成果の公開	(研究成果発信数) 155件	・博物館活動の基礎となる専門的な調査研究活動の充実を図り、積極的な研究成果の発信を行う。  (文献等の執筆数、図録等執筆数、新聞雑誌寄稿数、研究集会での発表件数、講演会講師数の合計)	262件 (169.0%)	○	・研究活動のさらなる充実にむけて、研究費の確保と研究環境の整備に継続的に取り組んでいく。
		(公的研究費活用数) 10件以上	・科学研究費助成事業等の公的研究費活用による研究成果を論文、展示などにより公開する。	41件 (410%)	○	・今後も公的研究費の獲得に努めるとともに、論文・展示等による成果公開の質的向上を目指す。

情報発信	事業情報の発信	(発信数) 213 件	・HP、SNS を活用した情報提供やチラシ、リーフレットによる情報発信を実施	388 件 (182%)	○	・休館中限定の情報発信ページなどを活用し、休館中もHPへアクセスしてもらえるよう努める。 ・再開館の日程や特別展開催の告知により再開館への期待を高める。 ・SNSによるタイムリーな情報発信に努め、フォロワー数の維持につなげる。 ・休館中から新聞社やテレビ局、出版社等への広報印刷物送付を行い、多様な媒体による広報につなげる。
	事業等収入及び	(R7 予算書の収入積算額：過去図録売上) 100 千円	(令和7年度は工事休館中のため外部会場で講座等を実施し、オンラインで図録を販売)	257 千円 (185%)	○	過去図録の売上は予算積算時の見込み額を上回った。
施設運営等	施設点検	高齢の来館者への配慮	・展示解説の読みやすさや館内の休憩スペース等高齢者の視点に沿った点検を行う。	・グラフィックパネル令和7年度分の更新 ・掲示類(館内マップ2件)の新設	○	展示解説や掲示類の見直しに向け、チームを設けて検討を行った。
	自己研鑽及び他館の研究	職員の研修受講件数 10 件以上	学芸員をはじめ、すべての職員が研修等に着実に参加し、資質向上を図る。  【参考】 令和7年度実績 36 件 当館主催 7 件 県他所属主催 9 件 文化庁等主催 4 件 団体等主催 16 件	36 件 (360%)	○	研修参加等により職員の資質向上に努める。